

丸亀うちわ

江戸初期に、金刀比羅宮参拝の土産物として朱赤に丸金印の渋うちわが作られたのが始まりとされています。国内シェアの9割を占める日本一の生産量を誇り、平成9年には国の伝統的工芸品に指定されました。

全47もの製造工程のほとんどを職人の手作業で作られるその職人技は今も受け継がれ、時代の移ろいとともに進化し続けています。